

科目コード	N20302	科目名	看護学総合演習（看護実践応用力の涵養）				
履修区分	必修	開講期	3年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	津田 右子 他						
授業の概要	全領域で学修してきた知識・技術・態度の統合に基づき、事例検討、状況設定問題等を用い学修する。健康の段階、発達段階に特徴づけられる対象のニーズに応じた看護実践能力を育成するための、専門知識・技術を強化する。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
到達目標	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力						
履修上の注意事項	1. 各看護学領域の総合的なまとめとして専門的知識・技術の確認ができる。						
	2. 自己の専門的知識の評価を行い、今後の課題を見出すことができる。						
授業計画	臨地実習で経験した看護事例などを用いた事例検討、状況設定問題等を用いて学修する。						
	・全出席が原則である。						
	・実施は集中講義と集中試験で行う（日程等は別途指示する）。講義の順番は変更する可能性がある。						
	・集中試験は、2回実施する						
	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション【各領域担当者】					
	2	成人看護【各領域担当者】				【事後学修】これまでに学修した講義や実習の内容を振り返る	
	3	老年看護【各領域担当者】				【事後学修】これまでに学修した講義や実習の内容を振り返る	
	4	リプロダクティブ・ヘルス領域の看護【各領域担当者】				【事後学修】これまでに学修した講義や実習の内容を振り返る	
5	子どもとその家族への看護【各領域担当者】				【事後学修】これまでに学修した講義や実習の内容を振り返る		
6	精神保健看護【各領域担当者】				【事後学修】これまでに学修した講義や実習の内容を振り返る		
7	在宅看護【各領域担当者】				【事後学修】これまでに学修した講義や実習の内容を振り返る		
8	確認のテスト【各領域担当者】				【事後学修】確認のテストの解き直しをする		
成績評価方法	2回の確認テスト結果を総合して評価する。合格点に満たなかった場合は、再試験・補講等の対象となる。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	特に無し						
参考書							
教員からのメッセージ	看護領域の実習で使用する資料を熟読し、適宜自らの学びを加えて学習してください。						
教員との連絡方法	各領域担当の教員にc-learningのメール等で直接質問ください。						
実務経験のある教員							